

心にひびく
 エコライフの流れ!



Contents

関心高まる 環境保護活動

摂津峡クリーンハイキング ・ 打ち水大作戦

グループ活動紹介

- タウンミーティング in たかつき 2007
 - 温暖化防止グループ
- エコな料理に挑戦 -----環境講座グループ
- 子ども樹木博士誕生 -----里山グループ
- ため池再発見 -----水環境保全グループ
- トウモロコシの収穫祭 ---エコビレッジグループ

関心高まる環境保護活動!

第5回 摂津峡クリーンハイキング

第5回摂津峡クリーンハイキングは9月2日、太陽エンジニア株式会社の家族22名および市民・会員の総勢62名の参加で実施されました。近年、企業の環境保護活動が盛んになっており、昨年に続いて参加いただきました。恒例となった清掃作業も年々参加人員が増加し、環境保護に関心が高まっているものと推測されます。

9時30分から約2時間、上の口から桜公園までの間でゴミの収集を行ない、最後にゴミ分別をし当日の行動の終了となりました。

今年は収集されたゴミの量も例年より少なく、環境保護への関心が年々深まっているようです。



分別作業

打ち水大作戦!

8月4日たかつき祭りの初日、ふるくて新しい習慣、ヒートアイランド対策は打ち水で!の打ち水大作戦には、JICA(ジャイカ・独立行政法人国際協力機構)の若者たちがたくさん参加してくださいました。

いろんな国からコンニチハ!

皆さん浴衣、法被姿で華やかにパレード参加、とても盛り上げてくれました。



JICAの皆さん

グループ活動紹介 その1

温暖化防止グループ

くらしやすい地球を 子どもたちへ

【石油ピークは「食と文明のピーク」】

講師 石井 吉徳氏

もったいない学会代表・東京大学名誉教授
(え?石油がなくなるて ほんま)

【エネルギー取り出し効率を考える】

講師 天野 治氏

もったいない学会理事・(財)電力中央研究所
(電気・ガスの使い方 考えなあかん)

未来のためにととても大切な問題を分かりやすくお話させていただきます。

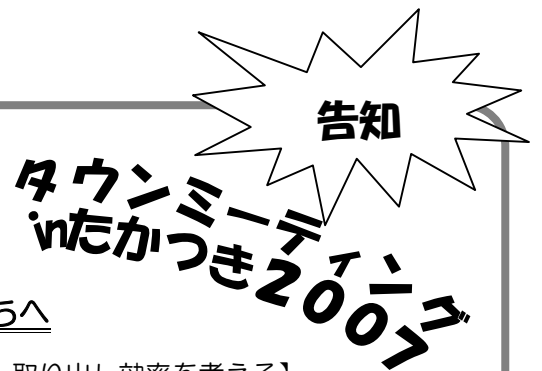
一緒に考えませんか!

くらしやすい地球を未来につなぐために

日 時: 2007年10月13日(土) 13時30分~16時30分

場 所: 高槻現代劇場 大ホール (開場 13時)

入場料: 500円(高校生以下無料・入場料は資料代を含む)



グループ活動紹介 その2

環境講座グループ

エコ料理に
関心が高まっています！

環境講座グループでは、「あぶの学び舎ネット」の勉強会で、エコ料理指導と省エネなどの講演をしました。エコ料理指導は、昨年12月の磐手公民館講座の2回に続いて3回目です。

食材を使い切ることで生ごみを少なくすることなど、ちょっとした工夫が家計を助け自分自身のためであり、環境にやさしい行動であることを、料理を通して実感しました。

また、省エネと今話題のバイオ燃料についての大阪府の施策も紹介しました。

<実施内容>

5月24日（参加者 20名）

「あぶの学び舎ネット」学習会（今城塚公民館）

☆エコ料理☆ カツレツ トマトソース添え、
カレー風味スープ、
キュウリとダイコンの酢の物、
まぜごはん、スイートポテト

☆講演☆ 省エネルギー、
バイオ燃料について



上：できあがった
エコ料理

下：講座の様子

里山グループ

第3回 子ども樹木博士認定！

里山グループは、行動目標の一つである山や樹木などの自然に親しみ、楽しく学習する活動の一環として子ども樹木博士認定制度を取り上げてきました。

第1回目を実施は、平成17年7月24日（日）でしたが、その準備として平成16年度は一年をかけて2～3の候補地を調査し、樹種の豊富さ、樹木観察の公園、テスト会場としての利便性などから阿武山公民館周辺とし、たかつき市広報でも「子ども樹木博士認定試験」参加者の募集を募りました。

本年度は第3回目を7月29日（日）に実施しました。出題対象樹木25種類の全問正解者も2名（樹木認定博士 2段）いました。参加者は子ども20名、大人10名でした。

アンケートでは、

「樹木名の勉強が出来た」「来年も参加します」といった回答もありました。里山グループの総力を結集した結果、順調かつ無事に終了しました。



認定試験の様子

水環境保全グループ

ため池再発見！
—ため池の話と観察会

水環境保全グループため池班では2003年からため池の環境と生物調査を行ってきました。2004年に調査を行った上牧地区のため池群は今も農業に利用されており、比較的昔からの形を残しています。昨年になって大阪府から一番大きな内ヶ池の整備計画がもちあがり、その計画策定会議に参加することになりました。そこで今年もっと詳しく調査をしようと年間4回の調査を行うとともに、付近住民のみなさんにもため池というものを知ってもらおうと、8月18日に講演会と観察会を行いました。

盆明けの忙しい中にもかかわらず、参加者は31人。講演会では瀬口和矩氏（NPO法人ビオトープネットワーク京都副理事長）にため池についての一般的な概要を説明してもらい、牧良雄氏（上牧実行組合長）から内ヶ池とはどんな池だったかの説明を受けました。

内ヶ池は、以前はもっと深くて澄んでいたの、子どもの頃は毎日学校の帰りに泳いだそうです。深いところでは水が冷たすぎて入ってられなかったとか。釣堀としても利用されていたそうです。講演の後は内ヶ池に行って魚と植物の観察会。先に現地で魚を捕って準備したNさんが捕れた魚の説明をし、Tさんが水路の水草の説明をしました。たくさんのモツゴとカダヤシ、大きなタウンギ、ヤナギモやオオカナダモなど見るものがたくさんで、みなさん写真を撮ったり質問したり。かんかん照りの暑い日差しの中でしたが、楽しい一日をすごしました。



観察会「内ヶ池にて」

エコビレッジグループ

トウモロコシの収穫祭！

8月5日、今年度の作業の最初の成果であるトウモロコシの収穫祭。総勢20名の参加者が畑でにぎやかにトウモロコシの収穫を楽しみました。

二料山荘でトウモロコシをゆで、野菜とおにぎりを注文して昼食としました。まさに地産地消の実践。



その3週間前からアライグマカイタチかテンか、ネットに侵入し出来のよいものから食べ荒らし、2週間前からはあぶらむしがくっついて、気がかりな状況でしたが、収穫祭するのに十分な量は確保出来て、まずはホッとしました。



「事務所のご案内」

下記時間帯には事務局長が常駐していますので、グループ活動や問合せにご活用下さい。

- 執務日：月・水・木・金（祝祭日除く）
- 時間：午後1時から午後5時
- 住所：高槻市出丸町2番30号高槻市環境政策室分室内
- TEL・FAX：072-675-4646
- メールアドレス：takatsukikankyo21@gaea.ocn.ne.jp

2007年10月1日発行

発行：たかつき環境市民会議、高槻市
編集：たかつき環境市民会議 プレスグループ
問合せ先：たかつき環境市民会議事務局

エコ&エコVol.13